

こころと脳の あいうえお

第53号

令和3年5月15日発行

特定医療法人 大慈会 三原病院
 〒723-0003 三原市中之町6-31-1
 電話 0848-63-8877
 ホームページ www.miharaph.com
 メール info@miharaph.com

認知症になつても住み慣れた地域で

認知症を患つても、何も出来なくなるわけではありません。ちょっとした工夫や適切な声掛けで、今までと変わらない生活を送ることが出来ます。その例として、認知症を患つたAさんについて紹介します。

Aさんは几帳面な性格で部屋も片付いており、お洒落をして買い物に出かけていました。一見するとアルツハイマー型認知症とは思えませんでしたが、回覧板が回せない、ゴミの分別が出来ない、記憶することが苦手なので同じものばかり買い、冷蔵庫に入りきらないこともあります。

年末は新型コロナウイルスの影響で遠方に住む家族から「今年は帰れない」と、連絡がありました。Aさんは『帰ってこない』を覚えることが出来ず、家族と過ごすための準備をしました。しかし、誰も帰省することはなく、どうしてよいのか分からなくなつたAさんは、近隣の方に救いを求めることが増えました。



チーム員が自宅を訪問



チーム員でサービス導入の話し合い

認知症の方で「自分はどこも悪くないから病院には行きません」と、言われる方が沢山おられます。認知症初期集中支援チームは、そのような方に、声掛けを工夫し、病院受診や必要なサービスを導入出来るように支援します。

認知症初期集中支援チームの関わりでAさんは当院の重度認知症デイケア(以下、デイケア)に通うことになりました。



医師の診察を受けるAさん



デイケアスタッフとの関係作り

Aさんは、説明を受けてもすぐに忘れてしまうので、なかなかデイケアに馴染めません。当院のデイケアは、物忘れをするAさんに寄り添い、少しずつデイケアに馴染めるように支援していました。地域のサロンでは物忘れをしていないよう取り繕おうとされますが、デイケアは同じ悩みを抱えておられる方ばかりであり、自然体で参加できるようになりました。

Aさんは、物忘れをすることで生活のしづらいところは手伝ってもらいますが、住み慣れた地域だからこそ『今日は何を食べようかな…』と、大好きな買い物に出かけ、今も入院や施設入所することなく自宅で生活することが出来ています。

*認知症初期集中支援チーム、重度認知症デイケアについての詳細は当院ホームページをご覧ください。

認知症初期集中支援チーム M.N

発達障害について

昨今、テレビなどで発達障害という言葉がよく聞かれるようになりました。発達障害の中では、ASDとADHDが有名です。ASD（自閉スペクトラム症）では、場の空気が読めない、人とのやりとりが難しい、こだわりが強いといった特徴が見られます。ADHD（注意欠如・多動症）では、ミスが多い、落ち着きがない、よく考えずに行動するといった特徴が見られます。以上の特徴は普段は「個性」でもありますが、環境が合っていないと「生きづらさ」として発動してしまいます。また、これらの特徴は「スペクトラム（連続体）」で捉えることが大切と言われています。つまり、誰でもこれらの特徴を持っていて、それが大きいか小さいかなのだ、という発想です。当院では昨年から発達障害支援プロジェクトが立ち上りました。発達障害の方が、自己理解を深め、より生きやすくなるような行き届いた支援がこれまで以上に出来るよう、職員一同研鑽を積んでいます。 心理療法室 M.N



グリーンスマイル

精神科デイケアグリーンフィールドには、グリーンスマイルという音楽グループがあります。メンバーは10代～60代で、10人前後です。それぞれ体調の差がある為、お互いの体調を考えながらメンバーもスタッフも楽しく活動しています。

三原病院の「花まつり」、「クリスマス会」、不定期にある施設内での「演奏会」、施設外では年一度「こころネットみはら」で演奏を行っており、それがメンバーの励みとなっています。

昨年12月はFMみはらにも出演させていただきました。収録時のインタビューを受けるメンバーの姿を見て心強く感じました。その中の言葉の一部を紹介します。

「私達が重視しているのは仲間のつながり、コミュニケーションです。寂しがり屋なのは健康な人もそうでもない人も一緒に。デイケアの良い所は、いい意味でゆる~い感じでホッとできる場所です。今の雰囲気のままでいてほしいし、これからも通いたいと思っています。音楽活動を通して健康な人と障害者の壁が小さくなればいいなあと思います。」

この言葉にスタッフ自身も励まされ、音楽グループのメンバーと今後も共に成長していくと思いました。

精神科デイケア S.U



新入職員あいさつ

この度無事に看護師の国家試験に合格することができました。

仕事と勉強の両立ができたのも、サポートをして下さった皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。これからは今まで以上に学ばなければいけないことも増えてくると思いますが、少しでも患者様の力になれるよう日々努力をしていきたいと思います。今後ともご指導をお願いいたします。 看護部 M.H

この度、看護師国家試験に無事合格することができました。学校と仕事の両立にあたり、周囲の方々には多大なご配慮を賜りありがとうございました。今の私が在るのは、皆様のおかげであり、心より感謝致します。

これまで以上に知識を深め、技術を磨き、患者様とご家族に寄り添えるよう精進します。今後ともご指導のほどよろしくお願ひ致します。 看護部 M.T

この春、作業療法室に入職しました。三原病院の一員として働けることを嬉しく思います。まだまだ未熟な私ですが、多くの知識と技術を吸収し、患者様に笑顔になってもらえるよう精一杯努力していきたいと思います。よろしくお願ひします。

作業療法室 W.S.



特定医療法人 大慈会 三原病院

医療理念

科学的・同情的・自立(sympathy)・自立(independence)

心の豊かさや個性が医療に求められている現代社会において、私達病院スタッフは、科学的・同情的・自立した先端の精神医療を実践し、大人になると極めて心地よくお対応し、患者様やご家族に安心していただける個性の高い精神科づくりを目指します。

開放的な医療、のびのびとした癒癒を実現し、患者様と責任を分担した医療で、患者様の立場や立場を支援することをスタッフの看護といいます。

三原病院の6ヵ角

1. 患者様を第一とする医療を実践してまいります。
2. 医師と共同で統合された治療体制づくりに努めます。
3. 防衛や治療について先端の精神医療を提供いたします。
4. 痛みやすく抱擁に際された患者様を日々見します。
5. 社会復帰の促進に力を注ぎ、患者様の自立を支援いたします。
6. 特色のある専門的なチーム医療を提供いたします。



特定医療法人 大慈会 三原病院

患者様の権利宣言

三原病院は、大いなる想いのゆゑ、患者様の基本的人権を尊重し、職員一同により患者様の権利を尊重した精神医療を行っていくことを宣言いたします。

1. 患者様は、一人の人間として、その人権、尊厳などを尊重される権利があります。(個人の尊厳)
2. 患者様は、性別、年齢、民族、宗教などにかかわらず、平等な待遇を受ける権利があります。(平等待遇の権利)
3. 患者様は、医療および医療情報を扱うる権利があります。(医療の普及をする権利)
4. 患者様は、自らの状況を判断するため必要な情報を知る権利があります。(情報を伝達する権利)
5. 患者様は、自らの状況を問題にして、医師との医療行為を受け、あらゆる判断をする権利があります。(自己決定権)
6. 患者様は、自己のプライバシーを守られる権利があります。(権利保持の権利)

患者様へのお願い

上記の宣言通りに向けて、私たちが医療で安全かつ効率的な医療の提供を行うために、次のことをお願いいたします。

①ご自身の医療に関する正しい情報の提供、および医療への積極的なご参加

②他の病院様の診断に支障をきたさないようご記載
ただし、医師及び医療機関にて問題が有り、西原の医療や医療的判断に反することに關しては、患者様からの要求があつても、医療技術で行使しないことがありますことをご理解ください。

広島県東部認知症疾患医療センターインフォメーション

当法人は、平成22年7月20日、広島県より指定をうけ「広島県東部認知症疾患医療センター」を開設致しました。認知症医療センターとは、広島県内各地域の認知症に関する保健・医療・福祉関係者等と連携し、認知症に関する様々なご相談や治療、また認知症に関する研修・情報提供等を行う施設です。

<認知症疾患医療センターの主な業務内容>

- ①認知症医療に関するご相談・専門医による診察(認知症の鑑別診断等)
- ②認知症疾患の周辺症状や身体合併症への早期対応
- ③地域医療連携関係者(かかりつけ医等)に向けた研修会の実施
- ④連携確保のため広島県内の保健・医療・福祉機関との協議会の開催
- ⑤認知症医療に関する情報の発信(ホームページ、パンフレット等)

<認知症疾患医療センターの実施体制>

◆電話相談受付時間：月曜～金曜(祝日を除く)
9:00～17:00

◆専門外来受付時間：月曜～土曜(祝日を除く)
9:00～11:30(予約制)

主な電話相談・専門外来予約の専用電話番号：

0849-61-5515へお願い致します。



電話相談及び専門外来は県内全域から受け付けます。お気軽にお問い合わせください。